

■基調報告者・パネリスト紹介

溝口雄三 (MIZOGUCHI Yuzo)

東京大学名誉教授・中国社会科学院（大学院）名誉教授

1932年名古屋市生まれ。東京大学文学部卒，文学博士。埼玉大学，一橋大学，東京大学，大東文化大学の教授および台湾清華大学客員教授，北京日本学研究中心主任，米国カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）客員教授，ハーヴァード大学客員研究員を歴任。主な研究分野は中国思想文化史。主な著書に『中国前近代思想の屈折と展開』（東京大学出版会，1980），『方法としての中国』（東京大学出版会，1989），『中国の公と私』（研文出版，1995），『公私』（三省堂，1996），『中国の衝撃』（東京大学出版会，2004）などがある。

鶴見俊輔 (TSURUMI Shunsuke)

哲学者

1922年東京生まれ。38年に渡米し，ハーヴァード大学哲学科卒業。42年，日米交換船で帰国する。46年，武谷三男，都留重人，丸山眞男らと雑誌『思想の科学』を創刊。京都大学助教授，東京工業大学助教授，同志社大学教授をつとめ，いずれも辞任した。65年，小田実，高嶋通敏らとベトナムに平和を！市民連合（ベトナムに平和を！市民連合）を結成し，米国によるヴェトナム侵略戦争に抗議するとともに，脱走米兵の支援活動に取りくむ。現在，「九条の会」呼びかけ人などの活動をつづけている。著書に『鶴見俊輔集』正・全12巻／続・全5巻（筑摩書房），『鶴見俊輔座談』全10巻（晶文社），『竹内好——ある方法の伝記』（リプロポート，1995）ほか多数。

菅 孝行 (KAN Takayuki)

評論家

1939年東京生まれ。1962年東京大学文学部卒業。専攻は思想・思想史・演劇論・演劇史。東映京都撮影所の演出助手を経てフリー。主な著書に『天皇論ノート』（れんが書房新社，1974），『反昭和思想論』（れんが書房新社，1975），『竹内好論』（三一書房，1976），『鶴見俊輔論』（第三文明社，1981），『解体する演劇／正・続』（れんが書房新社，1981），『戦後演劇』（朝日選書，1982，増補版，社会評論社，2004），『感性からの自由を求めて』（毎日新聞社，1982），『9・11以後 丸山眞男をどう読むか』（河合出版，2004）などがある。静岡県舞台芸術センター非常勤スタッフ（企画運営委員）。

張 寧 (ZHANG Ning)

中国鄭州大学文學院教授

鄭州大学，上海師範大学卒業，文学博士。《鄭州大学学报》編集員，副編集長を経て現職。専門分野は中国当代文学研究，文学評論。主な書著として《鲁迅与中国左翼文化》（上海社科規劃辦資助出版，2006），批評論集《生活的發言》（經濟日報出版社，2000）があるほか，論文《闡釋：后精神分析視野中的阿Q》（《文史哲》，2000.1），《一个撒謊故事的流布，变异与改写——〈牧童与狼〉与〈狼来了〉与〈三声槍響〉》（《文史哲》，2004.6），《1936-1941：兩種焦慮——左翼文化界關於魯迅思想“轉變”討論的歷史考察》（《新華文摘》，2005.17），《内部的“全球化”及其知識狀況》（《文芸研究》，2005.6），《走出弥達斯邏輯——關於“祛左翼化”与歷史本質論》（《鄭州大学学报》2006.1）などがある。

岡山麻子 (OKAYAMA Asako)

日本学術振興会特別研究員

1974年生まれ。2002年筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科修了。博士（文学）。近代日本思想史専攻。著書に『竹内好の文学精神』（論創社，2002年），論文に「竹内好の「民族」概念と保田與重郎——戦後における規範形成の基礎づけ」（『史境』第48号，2004年），「竹内好と保田與重郎——絶対的なるものへの意識をめぐって」（『比較思想研究』第32号，2006年）などがある。

薛 毅 〈XUE Yi〉

中国上海師範大学人文学院教授

1965年中国上海生まれ。上海師範大学中文系、華東師範大学大学院卒業。上海師範大学中国現当代文学修士課程学科責任者、上海大学当代カルチュラルスタディーズ研究センター特約研究員、上海高校（大学）都市文化E-研究院特別招聘研究員等を兼任。主な研究分野は魯迅研究、中国当代文学、カルチュラルスタディーズ。主な著書に《無語的言語》（学林出版社、1996）などがある。

松本健一 〈MATSUMOTO Kenichi〉

評論家、麗澤大学国際経済学部教授

1946年群馬県生まれ。東京大学経済学部卒業。京都精華大学教授を経て現職。主な研究分野は近・現代日本の精神史、アジア文化論。著書に『近代アジア精神史の試み』（中央公論新社、1994、1995年度アジア・太平洋賞受賞）、『日本の失敗 「第二の開国」と大東亜戦争』（東洋経済新報社、1998）、『開国・維新』（中央公論新社、1998、2001年度吉田茂賞受賞）、『竹内好「日本のアジア主義」精読』（岩波現代文庫、2000）、『評伝 佐久間象山』上・下（中央公論新社、2000）、『民族と国家』（PHP新書、2002）、『丸山眞勇 八・一五革命伝説』（河出書房新社、2003）、『評伝 北一輝』全5巻（岩波書店、2004、2005年度司馬遼太郎賞、毎日出版文化賞受賞）、『竹内好論』（岩波現代文庫、2005）など多数ある。

孫 歌 〈SUN Ge〉

中国社会科学院文学研究所研究員

中国吉林省生まれ。吉林大学中国文学系卒業。主な研究分野は中国文学、日本思想。主な著書に《求錯集》（三聯書店、1998）、《国外中国古典戯劇研究》（共著、江蘇文芸出版社、2000）、《亜洲意味着什麼》（台湾巨流出版社、2001）、《主体弥散的空間》（江西教育出版社、2002）、《竹内好的悖論》（北京大学出版社、2005）、『竹内好という問い』（岩波書店、2005）などがある。

加々美光行 〈KAGAMI Mitsuyuki〉

愛知大学国際中国学研究センター所長・COE 拠点リーダー・現代中国学部教授

東京大学文学部卒。アジア経済研究所主任研究員、愛知大学法学部教授を経て、1997年より、現代中国学部教授。2002年10月文部科学省「21世紀 COE プログラム」採択に伴い COE 拠点リーダー・国際中国学研究センター所長。主な研究分野は現代中国政治、中国政治思想。主な著書に『逆説としての中国革命——反近代化精神の敗北』（田畑書店、1986）、『知られざる祈り——中国の民族問題』（新評論、1992）、『歴史の中の文化大革命』（岩波現代文庫、2001）などがある。2005年中日文化賞受賞。

黒川 創 〈KUROKAWA Sou〉

作家

1961年生まれ。同志社大学文学部卒業。雑誌『思想の科学』編集委員などをつとめた。小説に『明るい夜』（文藝春秋、2005）、『イカロスの森』（新潮社、2002）、『もどろき』（新潮社、2001）、『硫黄島 IWO JIMA』（朝日新聞社、2000）、『若沖の目』（講談社、1999）ほか。評論に『日米交換船』（共著、新潮社、2006）、『国境』（メタローグ、1998）、『リアリティカーブ』（岩波書店、1994）、『水の温度』（講談社、1991）、『先端・論』（筑摩書房、1989）ほか。編著書に『〈外地〉の日本語文学選』全3巻（新宿書房、1996）ほか。共訳書にローレンス・オルソン『アンビヴァレント・モダニズム——江藤淳・竹内好・吉本隆明・鶴見俊輔』（新宿書房、1997）などがある。

◎総合同会

高橋五郎 〈TAKAHASHI Goro〉

愛知大学現代中国学部教授。